

令和8年度

大阪府立中学校入学者選抜適性検査問題
(大阪府立富田林中学校に係る入学者選抜)

適性検査Ⅲ
(社会・理科的問題)

注 意

- 1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
 - 答えとして記号を選ぶ問題は、下の【解答例】にならい、すべて解答用紙の記号を○で囲みなさい。また、答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消しなさい。

【解答例】

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

- 答えの字数が指定されている問題は、、。」「」なども一字に数えます。

解答用紙の採点欄には、何も書いてはいけません。

- 3 問題は、中の用紙のA・B・C面に1、D・E面に2、F面に3があります。

- 4 「開始」の合図で、まず、解答用紙に受験番号を書きなさい。

- 5 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

受験 番号	番	得点
----------	---	----

令和8年度大阪府立中学校入学者選抜適性検査問題
適性検査Ⅲ（社会・理科的問題）解答用紙

1	(1)	①	ア	イ	ウ	エ
	②					
	③	(i)				
		(ii)	ア	イ	ウ	エ
	④			月		日
	⑤	(i)	ア	イ	ウ	エ
(2)		(ii)				
	①		ア	イ	ウ	エ
	②	(i)	ⓐ ア イ	ⓑ ウ エ	ⓒ オ カ	
			ⓓ キ タ	ⓔ ケ コ		
		(ii)	ア	イ	ウ	エ
	③	(i)	ア	イ	ウ	エ
(3)		(ii)				
	①					
	②	A	ア	イ	ウ	エ
		C	ア	イ	ウ	エ
		B	ア	イ	ウ	エ
		D	ア	イ	ウ	エ

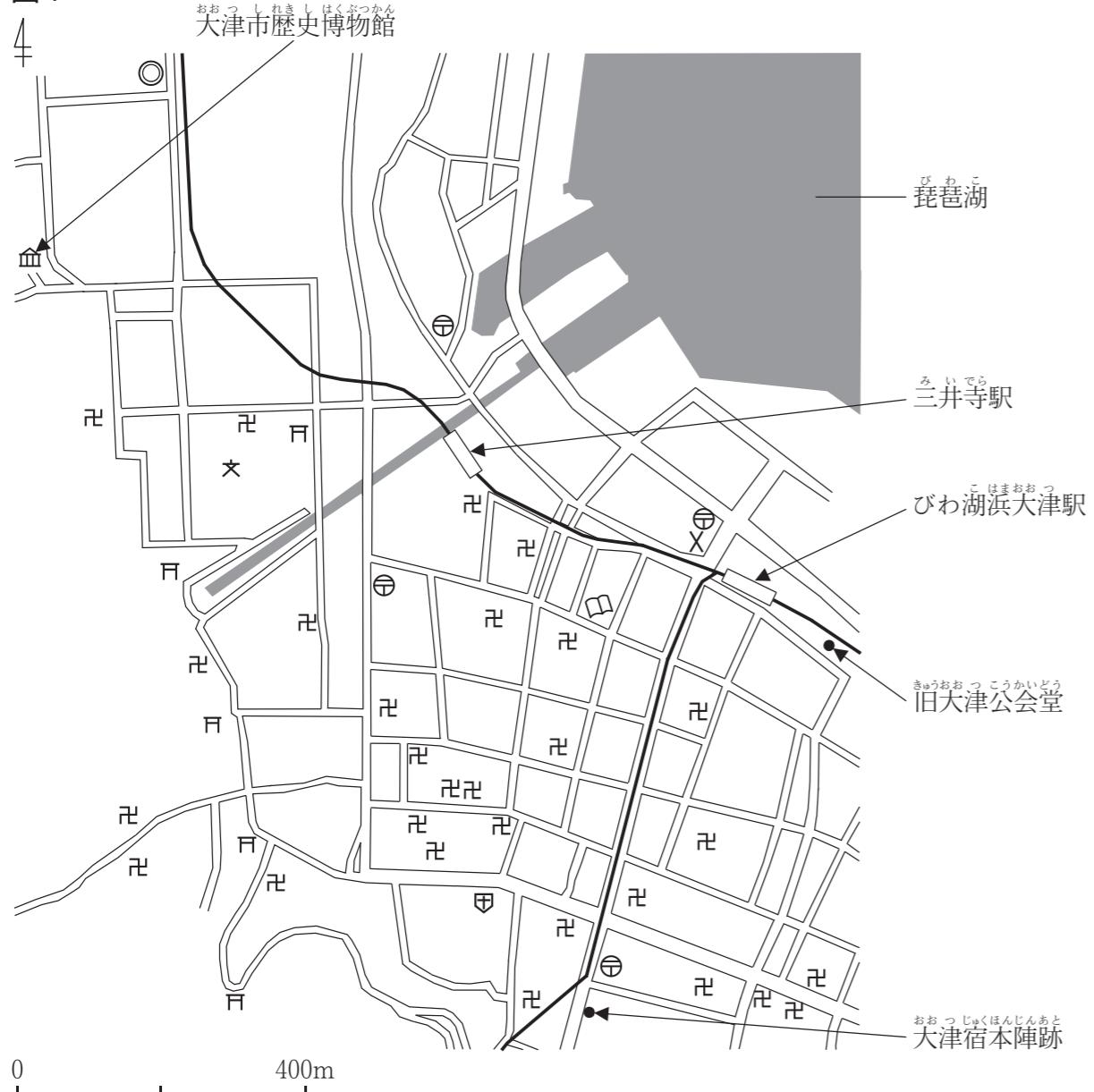
1	(3)	(3)	(<観察>の結果) アイウエ
			(説明)

2	(1)	①	ア	イ	ウ	エ			3		
	②	(i)	ア	イ	ウ	エ			3		
		(ii)	ア	イ	ウ	エ			3		
	③	A	ア	イ	ウ	エ	B	ア	イ	ウ	エ
		C	ア	イ	ウ	エ	D	ア	イ	ウ	エ
	(2)	①	ⓐ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ		
		ⓑ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ		3	
		②	(i)						秒		
		(ii)							m		
		(iii)	ア	イ	ウ	エ		オ			

1 夏休みのある日、けんさんは、滋賀県大津市に住むいとこのりくさんの家を訪れました。
(1)～(3)の問い合わせに答えなさい。

(1) けんさんは、りくさんに大津市内を案内してもらうことになりました。図1は、2人が訪れる場所などを示した大津市内の地図です。①～⑤の問い合わせに答えなさい。

図1



① 2人は、りくさんの家を出発する前に、図1中に示された施設などの場所や施設間の距離などを確認しました。次のア～エのうち、図1から読み取れる内容として正しいものをすべて選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 大津市歴史博物館から大津宿本陣跡までの距離は、直線で800m以内である。
- イ 大津市歴史博物館からは、図書館よりも市役所の方が近い。
- ウ 大津宿本陣跡から見て、旧大津公会堂は北西にある。
- エ 大津宿本陣跡から直線で400m以内に病院と郵便局がある。

② 最初に2人は、大津市歴史博物館を訪れ、大津市北部にはいくつかの古墳が集まつた古墳群があることを知りました。次の文章は、古墳時代に関するこについて述べたものです。文章中の(ア)に入る適切な語を漢字2字で書きなさい。

埼玉県の稻荷山古墳から「ワカタケル(ア)」の名前がきざまれた鉄剣が発見された。(ア)とは大和朝廷の中心となった人物の呼び名であることから、古墳時代には大和朝廷の影響が関東地方にまで広がっていたと考えられている。

③ 次に2人は大津宿本陣跡を訪れました。大津宿本陣跡は、大津宿に設けられた、大名など身分の高い人が宿泊するための施設があった場所です。大津宿は東海道の宿場としてにぎわいました。(i)、(ii)の問い合わせに答えなさい。

(i) 江戸幕府が整備した五街道のうち、近江国(現在の滋賀県)を通り、江戸と京都を行き来することができた街道は2つあり、その1つが東海道です。もう1つの街道の名前を書きなさい。

(ii) 次のア～エのうち、「東海道五十三次」の作者として最も適しているものを1つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 伊能忠敬

イ 歌川広重

ウ 杉田玄白

エ 本居宣長

④ 最後に2人は旧大津公会堂を訪れました。旧大津公会堂は、1934年に建てられた建物であり、1947年の日本国憲法が施行された日からは大津公民館として使用されました。日本国憲法が施行された日は1947年の何月何日ですか。書きなさい。

⑤ 2人は、りくさんの家に帰った後、滋賀県について調べました。(i)、(ii)の問い合わせに答えなさい。

(i) 滋賀県は、近畿地方では兵庫県に次いで米の収穫量が多い県です。表は、2024年における全国の米の収穫量が多い上位5道県を示したものです。次のア～エのうち、表中の(ア)、(エ)に入る道県の組み合わせとして最も適しているものを1つ選び、記号を○で囲みなさい。

表 米の収穫量(2024年)

	収穫量(t)
(ア)	622,800
(エ)	562,400
秋田県	490,000
宮城県	366,100
福島県	356,800

(農林水産省の資料により作成)

ア A 北海道
ウ A 新潟県

ビ B 新潟県
シ B 北海道

ス A 北海道
エ A 岩手県

テ B 岩手県
ト B 北海道

(ii) 滋賀県は北部と南部で気候にちがいがみられます。図2は、滋賀県北部にある長浜市と南部にある大津市の位置を示した滋賀県の地図です。図3は、長浜市と大津市それぞれの気温と降水量を示したものです。図4は、長浜市にみられる縦型の信号機です。【メモ】は、長浜市の気候や長浜市にみられる縦型の信号機に関することについてけんさんがまとめたものです。あととの問い合わせに答えなさい。

図2

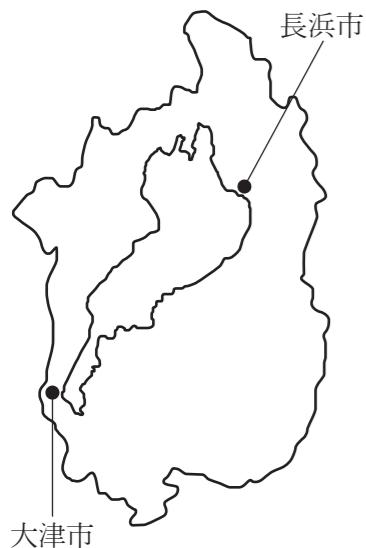


図3

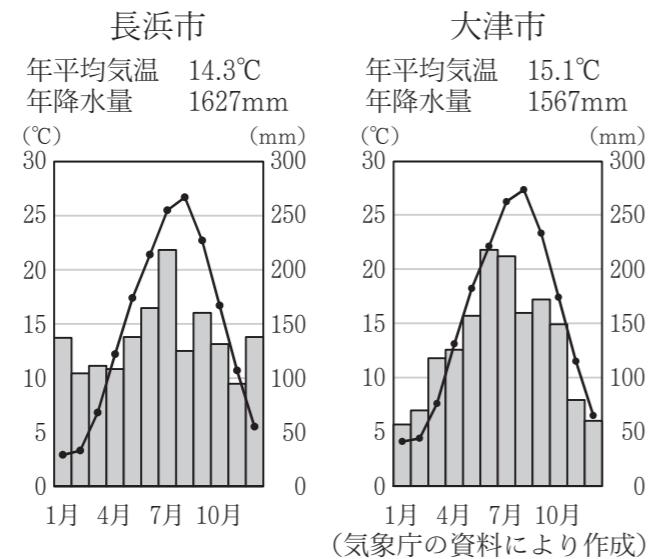


図4



【メモ】

長浜市では、冬に日本海側から季節風が吹く。長浜市では、季節風の影響もあって [] ことによって、信号機が破損することや見えにくくなることなどを防いでいると考えられる。

問い合わせ 【メモ】中の [] に当てはまるところを、次の条件1～3にしたがって書きなさい。

- 条件1 図3からわかる、長浜市の冬の気候の特徴にふれて書くこと。
- 条件2 縦型の信号機にはどのような効果があるのかにふれて書くこと。
- 条件3 35字以内で書くこと。

(2) 次の日、2人は、りくさんの家の周辺にいる生物について調べることにしました。①～③の問い合わせに答えなさい。

① 2人は、木で鳴いているセミを見つけました。セミは、さなぎにはならずに、たまご→幼虫→成虫の順に育つこん虫です。次のア～エのうち、幼虫から成虫に育つ間にさなぎにならないこん虫として適しているものをすべて選び、記号を○で囲みなさい。

- ア バッタ（ショウリョウバッタ）
- イ チョウ（モンシロチョウ）
- ウ トンボ（シオカラトンボ、アキアカネ）
- エ カブトムシ

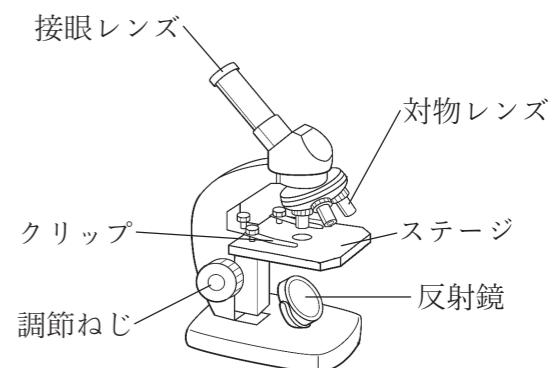
② 2人は、小さな生物を観察するために、図5のようなけんび鏡を使いました。(i)、(ii)の問い合わせに答えなさい。

(i) 次の文章は、図5のようなけんび鏡の使い方をまとめたものです。【けんび鏡の使い方】中の①[]～⑤[]から適しているものをそれぞれ1つずつ選び、記号を○で囲みなさい。

【けんび鏡の使い方】

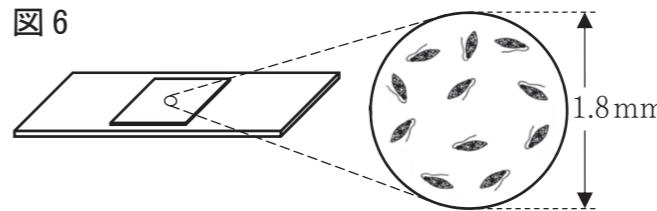
- 1 対物レンズを倍率の最も①[ア 高い イ 低い]ものにし、接眼レンズをのぞきながら反射鏡を動かし、見えている範囲が明るく見えるようにする。
- 2 プレパラートをステージの上に置いて、クリップでとめる。
- 3 ⑤[ウ 接眼レンズをのぞきながら エ 横から見ながら]調節ねじを回し、プレパラートと対物レンズとの間の距離をできるだけ④[オ 大きく力 小さく]する。
- 4 ③[キ 接眼レンズをのぞきながら ク 横から見ながら]調節ねじを回し、プレパラートと対物レンズとの間の距離を少しずつ⑤[ケ 大きくコ 小さく]していき、はっきり見えるところでとめる。

図5



(ii) 2人は、スライドガラスに田んぼの水をのせ、カバーガラスをかけてプレパラートを作り、けんび鏡で観察しました。すると、図6のように、直径が1.8 mmの円の形をした範囲の中に、ミドリムシが11匹いました。図7は観察したミドリムシのスケッチです。図8は図6中のプレパラートを真上から見たもので、図8中の「観察する部分」は1辺18 mmの正方形です。「観察する部分」のどの範囲に着目しても、範囲の中にいるミドリムシの数はその範囲の面積に比例するものとして考えると、「観察する部分」全体にミドリムシは何匹いるといえますか。あのア～エのうち、最も近いと考えられるものを1つ選び、記号を○で囲みなさい。ただし、円周率は3.14とします。

図6



ア 350匹

イ 630匹

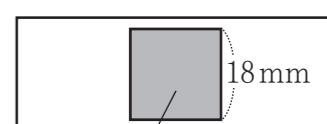
ウ 1100匹

図7



ミドリムシ

図8



「観察する部分」

エ 1400匹

③ 2人は、田んぼの水路でメダカを見つけました。(i)、(ii)の問い合わせに答えなさい。

- (i) 滋賀県に生息しているクロメダカという種類のメダカは、体の色が黒色のときやうすい茶色のときがあります。次の＜実験＞は、クロメダカの体の色が何の影響を受けて変化するか調べるために2人が行ったものです。あの問い合わせに答えなさい。

＜実験＞ クロメダカの体の色が何の影響を受けて変化するか調べる。

方法 日中、部屋の照明を消しカーテンを閉めてうす暗くし、A～Dの4つのビーカーを用意して、それぞれに水を入れる。AとBは黒い紙、CとDは白い紙で側面と底をおおう。AとCに体の色がうすい茶色のクロメダカを3匹ずつ入れる。15分後、AとCのクロメダカの体の色を観察する。次に、部屋の照明をつけて明るくし、BとDに体の色がうすい茶色のクロメダカを3匹ずつ入れる。15分後、BとDのクロメダカの体の色を観察する。なお、A～Dにおいて、側面と底をおおう紙の色と、部屋の照明以外の条件は同じにする。

ビーカー	A	B	C	D
側面と底をおおう紙の色	黒色	黒色	白色	白色
部屋の照明	つけない	つける	つけない	つける

結果 AとBに入れたすべてのクロメダカの体の色は、黒く変化し、CとDに入れたすべてのクロメダカの体の色は、うすい茶色のままであった。

問い合わせ 次のア～エのうち、クロメダカの体の色の変化について、＜実験＞から考えられることとして最も適しているものを1つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 周囲の色と部屋の明るさのどちらの影響も受ける。
イ 周囲の色の影響は受けるが、部屋の明るさの影響は受けない。
ウ 周囲の色の影響は受けないが、部屋の明るさの影響は受ける。
エ 周囲の色と部屋の明るさのどちらの影響も受けない。

- (ii) 図9は、たまごからかえったばかりのメダカのスケッチです。メダカは、たまごからかえってしばらくの間(数日間)、何も食べなくても育つことができます。その理由を、図9を参考に、25字以内で書きなさい。

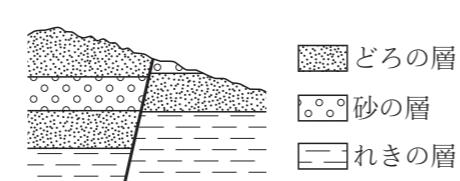
図9



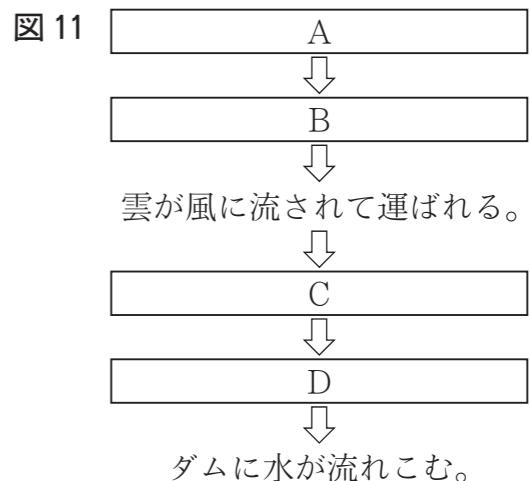
(3) その後、2人は、りくさんの兄といっしょに滋賀県にある地層やダムの見学に行きました。①～③の問い合わせに答えなさい。

- ① 地層を見学に行ったところ、図10のような、地層がずれている部分がありました。このような、大地(土地)に大きな力が加わってできた地層のずれは何と呼ばれていますか。漢字2字で書きなさい。

図10



- ② 3人は、ダムを見学しに行きました。けんさんは、ダムにたまっている水がどこから来たのか考えました。図11は、ダムにたまっている水がダムまで来た過程の1つを表したもので、次のア～エのうち、図11中の[A]～[D]に入る適切なことばをそれぞれ1つずつ選び、記号を○で囲みなさい。ただし、[A]～[D]に同じことばは入りません。



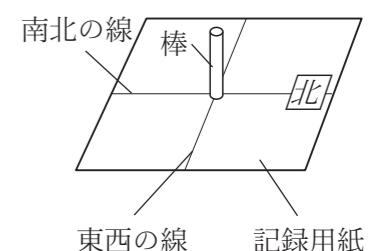
- ア 太陽の熱によって地表(地面)や海の水が蒸発する。
イ 空気中の水蒸気が上空に運ばれて、雲ができる。
ウ 雨水が、地表(地面)を流れて川に流れこむ。
エ 雲から雨が降る。

③ けんさんは、木のかげの向きが行きと帰りで異なっていることに気がつきました。けんさんは、翌日りくさんの家で、時間の経過によるかげの向きの変化を確認するために次の＜観察＞を行い、かげの向きの変化を調べました。あの問い合わせに答えなさい。

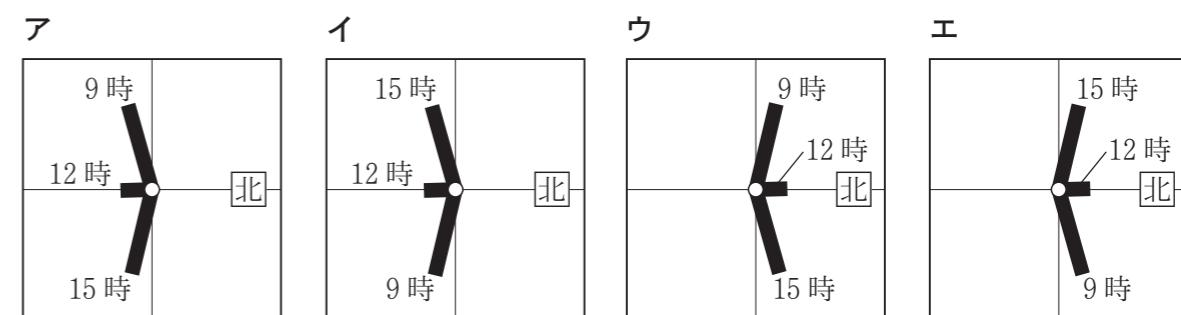
＜観察＞ かげの向きの変化を調べる。

- 記録用紙を用意し、直角に交わるように2本の直線を引いて南北、東西の線とする。この2つの線の交点に記録用紙と垂直になるように棒を固定し、図12のような装置を作る。
- 図12の装置の北を実際の北と正確に合わせ、日光が直接当たる水平な場所に装置を置く。
- 9時、12時、15時に記録用紙にできる棒のかげをペンでなぞる。

図12



問い合わせ 次のア～エのうち、＜観察＞の結果として最も適しているものを1つ選び、記号を○で囲みなさい。また、どのように考えて答えを導き出したかを、太陽の位置とかげの向きにふれながら説明しなさい。



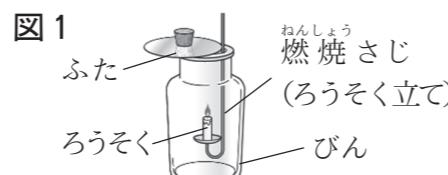
2 (1)、(2)の問い合わせに答えなさい。

(1) ともやさんは、ものの燃え方を調べるために、次の<実験>を行いました。①～③の問い合わせに答えなさい。

<実験> ろうそくの燃え方を調べる。

方法 火のついたろうそくをびんに入れ、図1のようにふたをして、ろうそくの火のようすを観察する。

結果 ふたをしてしばらくすると、図2のようにろうそくの火は消えた。



① <実験>から、びんの大きさやろうそくの本数を、次の②、⑤それぞれのよう^{へん}
に変更して実験を行うと、ふたをしてからろうそくの火が消えるまでの時間は、<実験>
と比べて、それぞれどのようになると考えられますか。あのア～エのうち、最も適
しているものを1つ選び、記号を○で囲みなさい。ただし、ろうそくはどれも同じも
のを用いるものとし、⑤については、ふたをしてから2本のろうそくの火が両方消え
るまでの時間で考えるものとします。

- ② ろうそくを入れるびんを、<実験>で用いたびんよりも小さなものに変更する。
③ びんに入れる火のついたろうそくの本数を、2本に変更する。

ア ② 長くなる ⑥ 長くなる ウ ② 短くなる ⑤ 長くなる

イ ④ 長くなる ⑤ 短くなる エ ④ 短くなる ⑤ 短くなる

② ともやさんが<実験>の前と後のそれぞれにおいて、びんの中の酸素、二酸化炭素の体積の割合を気体検知管で調べると、表1のようになりました。(i)、(ii)の問い合わせに答えなさい。ただし、表1におけるちっ素の体積の割合は、<実験>の前も後も78%であるものとし、ろうそくが燃えること以外で、びん中の各気体の体積の割合は変化しないものとします。

表1	<実験>の前	酸素 21 %、二酸化炭素 0.04 %
	<実験>の後	酸素 17 %、二酸化炭素 4 %

(i) びんの容積が500 mLであるとすると、びんの中でろうそくが燃えるときに使われた酸素は何mLですか。次のア～エのうち、最も適しているものを1つ選び、記号を○で囲みなさい。ただし、ろうそくと燃焼さじ(ろうそく立て)の体積は考えないものとします。

- ア 20 mL イ 40 mL ウ 85 mL エ 105 mL

(ii) ともやさんは表1から、「<実験>においてろうそくの火は、二酸化炭素の体積の割合が増えたから消えたのではなく、酸素の体積が一定の割合まで減ったから消えた」と考えました。ともやさんの考えが正しいとした場合、<実験>で用いたびんと同じびんを2つ用意してそれぞれX、Yとし、X、Yの中の各気体の体積の割合を表2の通りにして、火のついたろうそくを入れると、ろうそくの火はそれぞれどのようになりますか。あのア～エのうち、最も適しているものを1つ選び、記号を○で囲みなさい。ただし、ちっ素の体積の割合は、ろうそくの火が燃えたり消えたりすることには影響しないものとします。

表2	X	ちっ素 85 %、酸素 15 %
	Y	ちっ素 65 %、酸素 25 %、二酸化炭素 10 %

- ア Xに入れてもYに入れても、しばらく燃えてから消える。
イ Xに入れるとしばらく燃えてから消え、Yに入れるとすぐに消える。
ウ Xに入れるとすぐに消え、Yに入れるとしばらく燃えてから消える。
エ Xに入れてもYに入れても、すぐに消える。

③ A～Dの4つのびんがあり、ちっ素、酸素、二酸化炭素、空気のうちのいずれかで満たされ、ふたで閉じられています。また、A～Dに満たされている気体はすべて異なっています。次の文章は、A～Dは何で満たされているか調べた方法とその結果をまとめたものです。あの問い合わせに答えなさい。ただし、ろうそくが燃えること以外で、びんの中の各気体の体積の割合は変化しないものとします。

A～Dそれぞれのふたをあけ、それぞれに<実験>中の図1のように火のついたろうそくを入れふたをすると、Aに入れたろうそくの火はしばらく燃えてから消え、Dに入れたろうそくの火は、Aに入れたろうそくの火よりも激しく燃えてから消えた。また、BとCに入れたろうそくの火はすぐに消えた。その後、ろうそくをびんから出し、A～Dそれぞれに石灰水を入れてから再びふたをし、軽くふると、A、B、Dはいずれも白くにごり、Cは変化が見られなかった。

問い合わせ A～Dのびんにはじめに満たされていた気体はそれぞれ何であると考えられますか。次のア～エからそれぞれ1つずつ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア ちっ素 イ 酸素 ウ 二酸化炭素 エ 空気

(2) ひなたさんは、図3のようなふりこを用意し、おもりの重さ、ふれはば、ふりこの長さの3つの条件を変えて、ふりこが1往復する時間を調べることにしました。表3は、ひなたさんが行った実験の結果をまとめたものです。①、②の問い合わせに答えなさい。ただし、糸の重さと糸ののびは考えないものとします。

表3

	実験A	実験B	実験C	実験D	実験E
おもりの重さ (g)	10	10	20	10	20
ふれはば (°)	10	20	10	10	20
ふりこの長さ (cm)	30	30	60	120	120
1往復する時間 (秒)	1.1	1.1	1.6	2.2	2.2

① ひなたさんは、おもりの重さ、ふれはば、ふりこの長さの3つの条件とふりこが1往復する時間の関係について考えることにしました。次の文章は、実験からわかることについて、ひなたさんがまとめたものの一部です。あのア～カのうち、文章中の①、②に入る適切なことばをそれぞれ1つずつ選び、記号を○で囲みなさい。

ふりこが1往復する時間が、ふりこの長さによって変わることは、①の結果を比べることでわかる。また、ふりこが1往復する時間が、ふれはばによって変わらないことは、②の結果を比べることでわかる。

- ア 実験Aと実験B イ 実験Aと実験C ウ 実験Aと実験D
 エ 実験Bと実験C オ 実験Cと実験D カ 実験Dと実験E

② ひなたさんは、ふりこの長さとふりこが1往復する時間の関係について調べ、次の【メモ】を作りました。表3中の実験Aの結果と【メモ】の内容を用いて、(i)～(iii)の問い合わせに答えなさい。ただし、ふりこが1往復する時間は、ふりこの長さだけで決まるものとします。

【メモ】

ふりこの長さを変えたときに、ふりこが1往復する時間がどのように変わるかは、次のように表される。

ふりこの長さ	1倍	4倍	9倍	16倍	25倍	36倍	…	(□×□)倍
1往復する時間	1倍	2倍	3倍	4倍	5倍	6倍	…	□倍

*□には同じ数が入る。

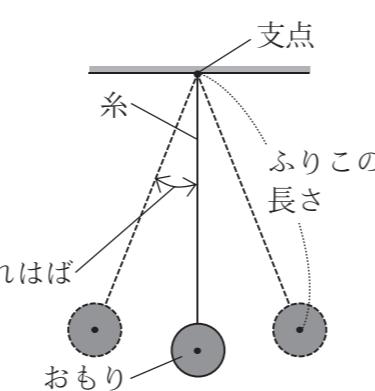


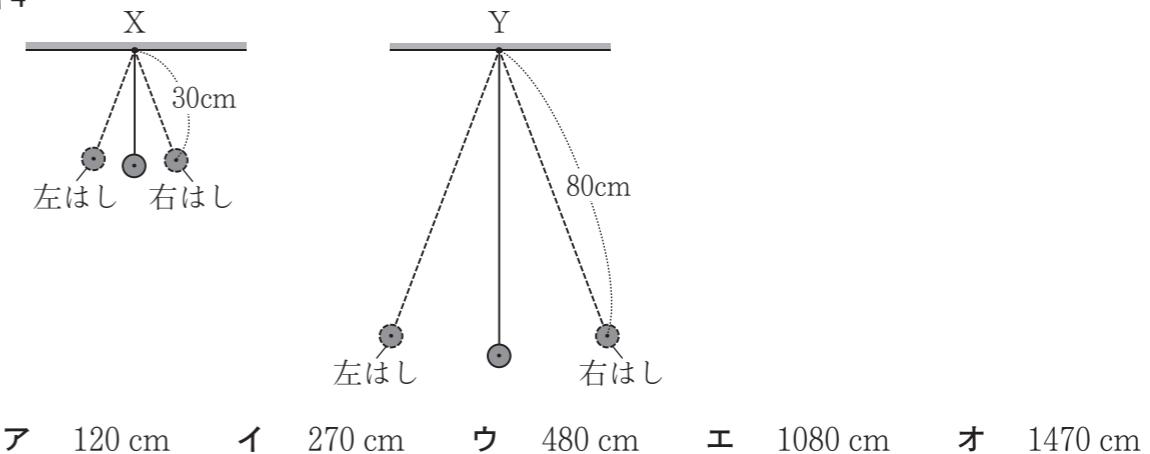
図3

(ii) ある科学館には「フーコーのふりこ」という大きなふりこが展示されており、この科学館のフーコーのふりこが1往復する時間は、9.9秒でした。このフーコーのふりこの長さは何mだと考えられますか。求めなさい。

(iii) ひなたさんは、図4のように、ふりこの長さが30cmであるふりこ（以下、Xとします）と、ふりこの長さが80cmであるふりこ（以下、Yとします）を、右はしから同時に動かしました。すると、XとYはそれぞれ何度も往復しながら、約19.8秒ごとに同時に右はしにくるように動くことが観察できました。

XとYとは別のふりこ（以下、Zとします）を追加し、XとYとZを右はしから同時に動かすことについて考えます。XとYは19.8秒ごとに同時に右はしにくるものとすると、XとYとZが19.8秒ごとに同時に右はしにくると考えられるのは、Zのふりこの長さが何cmであるときですか。あのア～オのうち、適しているものをすべて選び、記号を○で囲みなさい。

図4



(i) ふりこの長さが7.5mのふりこが1往復する時間は何秒だと考えられますか。求めなさい。

3 みうさんとあきさんは、世界遺産に関することについて調べました。(1)、(2)の問い合わせに答えなさい。

(1) 次の【メモ】は、みうさんが世界遺産についてまとめたものです。①～④の問い合わせに答えなさい。

【メモ】

- ・世界遺産とは、国際連合の機関の1つであるユネスコが条約にもとづいて登録した遺跡や自然地域などのことである。
- ・2025年7月現在、世界には1,248件の世界遺産があり、登録件数が多い上位3か国は、イタリア、中国、ドイツである。
- ・2025年7月現在、日本にある世界遺産は26件である。

① 【メモ】中の下線部④に関して、国際連合は、第二次世界大戦後に、国際社会の平和を守るためにつくられました。次のア～エは、第二次世界大戦以降における、日本の国際社会への復帰に関するできごとです。ア～エをできごとが起こった順に並べかえて、記号を書きなさい。

- ア 日中平和友好条約が結ばれた。
- イ 日本の国際連合への加盟が認められた。
- ウ 48か国との間で、サンフランシスコ平和条約が結ばれた。
- エ 高度経済成長の中、東京オリンピック・パラリンピックが開かれた。

② 【メモ】中の下線部①に関して、次のア～ウのうち、日本において条約を承認する役割を担っている機関を1つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 国会
- イ 内閣
- ウ 裁判所

③ 【メモ】中の下線部⑤に関して、次の文は、イタリア、中国、ドイツに関するこ^{とに}とについてまとめたものです。文中の（④）に入る適切な語をカタカナ5字で書きなさい。

イタリア、中国、ドイツが位置する（④）大陸では、古くから交通路によって広い地域がつながり、さかんに交流が行われていた。

④ 【メモ】中の下線部⑤に関して、厳島神社や富岡製糸場などが世界遺産に登録されています。(i)、(ii)の問い合わせに答えなさい。

(i) 厳島神社は6世紀に創建され、12世紀には平清盛が厚く敬いました。次のア～エのうち、平清盛について書かれた文として正しいものをすべて選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 宋と貿易を行った。
- イ 武士として初めて太政大臣の地位についた。
- ウ 征夷大将軍に任命され、鎌倉に幕府を開いた。
- エ 2度にわたって九州北部にせめてきた元軍と戦った。

(ii) 富岡製糸場は、明治時代に群馬県につくられた官営(国営)工場です。次のア～オのうち、群馬県に接している県として正しいものをすべて選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 山形県 イ 長野県 ウ 栃木県 エ 神奈川県 オ 静岡県

(2) あきさんは、日本にある世界遺産を訪れる外国人が増えていることを知り、日本を訪れる外国人旅行者について調べました。図1は、2015年から2024年における日本を訪れた外国人旅行者の数を示したもので、図2は、2015年と2024年における日本を訪れた外国人旅行者が、アジア、北アメリカ、ヨーロッパ、その他のいずれの州から来たかの内訳を示したものです。あのア～エのうち、図1と図2から読み取れる内容として誤っているものを1つ選び、記号を○で囲みなさい。

図1 日本を訪れた外国人旅行者の数

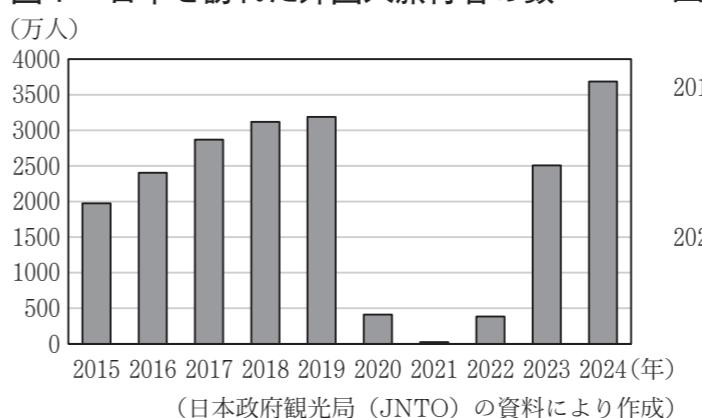
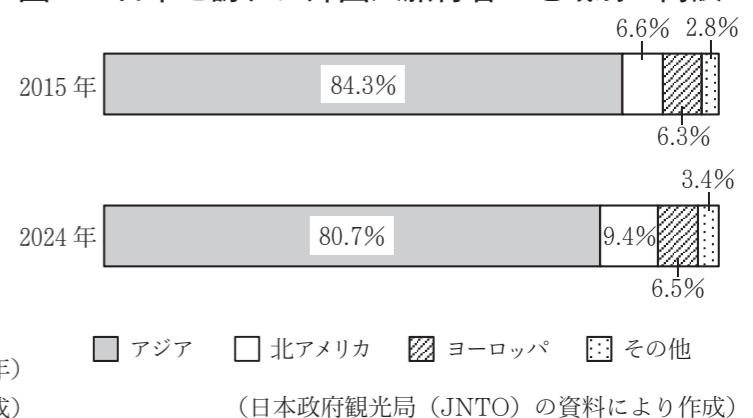


図2 日本を訪れた外国人旅行者の地域別の内訳



ア 日本を訪れた外国人旅行者の数は、2015年から2019年にかけて増加しており、2019年に日本を訪れた外国人旅行者の数は、2015年に日本を訪れた外国人旅行者の数の1.5倍以上になっている。

イ 日本を訪れた外国人旅行者にしめる北アメリカ州から日本を訪れた外国人旅行者の割合は、2015年より2024年の方が高い。

ウ 2024年にヨーロッパ州から日本を訪れた外国人旅行者の数は、2015年にヨーロッパ州から日本を訪れた外国人旅行者の数と比べて80万人以上増加している。

エ 2024年にアジア州から日本を訪れた外国人旅行者の数は、3500万人を上回っている。